

香川生物 (Kagawa Seibutsu) (15・16) : 23-25, 1989.

## 徳島県・剣山のウサギコウモリと滋賀県・比叡山の トウヨウヒナコウモリについて

森 井 隆 三

〒760 高松市西宝町2-4-18 香川県教育センター

Observation of a Colony and a Note of Measurements of  
*Plecotus auritus* from Mt. Tsurugi, Tokushima Prefecture  
and New Collecting Record of *Vespertilio orientalis* from  
Mt. Hiei, Shiga Prefecture, Japan

Ryūzō MORII, Kagawa Educational Cente, 2-4-18 Saihōchō,  
Takamatsu 760, Japan

四国におけるウサギコウモリ *Plecotus auritus* の採集としては、愛媛県の石鎚山 (Abe et al, 1970) および徳島県の剣山 (阿部ほか, 1971) での記録がある。一方その採集記録の多くは、1〜数頭で、集団の記録としては横山 (1985) の報告だけである。

今回、徳島県の剣山でウサギコウモリ15頭 (雄2頭, 雌13頭) が捕獲され、外部形態を計測することができたので、今後の資料のために報告する。また、トウヨウヒナコウモリ *Vespertilio orientalis* については、滋賀県の比叡山で採集されたので、新しい産地として報告する。外部形態はものさしで0.1mmまで、体重は上皿天秤で0.1gまでそれぞれ計測した。

ウサギコウモリは、1988年9月18日に徳島県の剣山 (1,955m) の標高約1,800m付近にある不動窟に棲息していた。この洞窟のすぐそばには沢があり、まわりはシコクシラベ *Abies shikokiana* を主にした雑木林である。洞窟の奥行きは約10m、高さは約15mで幅は約1mくらいである。洞窟の中には水が流れている。ウサギコウモリがコロニーをつくっていたのは、入口から4〜5m入った高さ約10mの岩の突き出たところである。コロニーは19頭からなっていた。このコロニーを見たのは午前9時ごろである。昆虫網で下からすくったが、なかなかコロニーをとこうとはしなかった。その朝の最低気

温は、山頂で約7℃であった。気温がかなり低下していたことから考えると、冬眠状態に入っていたのかもしれない。

この場所では、1965年に阿部によって1頭、1967年8月5日に木内、吉田によって5頭のウサギコウモリが採集されている (阿部, 1971)。今回の捕獲は四国では約20年ぶりの記録である。四国ではこのほかに、1969年に愛媛県の石鎚山 (1,981m) の山麓 (1,600m) で、前田によってカスミ網で1頭採集されている (Abe et al, 1970)。四国を含んだ過去の採集例では、洞窟 (阿部, 1971; 鈴木他, 1975; 横山, 1985)、隧道 (赤羽, 1958; 佐野・上馬, 1981; 前田他, 1985) およびカスミ網 (Abe et al, 1970) がある。ウサギコウモリは山地の森林に棲息するといわれている (今泉, 1978)。しかし、採集場所としては、今回も洞窟であったし、過去にも洞窟や隧道が多い。これは、たまたま洞窟や隧道にウサギコウモリが迷いこんでいたのが採集されたのではないだろうか。今泉 (1970) は、洞窟で越冬することが多いとしている。このことから考えると、今回の洞窟での発見は、冬眠のためにコロニーをつくっていた可能性もある。このようにウサギコウモリが冬眠のためにコロニーをつくっていた記録は今までにはない。

一方、標高についてみると、300m〜1,000m (佐野・上馬, 1981), 1,600m (Abe et al,

1970), 1,800m(阿部, 1971)で採集されさせている。今泉(1970)によると、富士山では、2,400mの森林限界までかなり多数棲息している。ウサギコウモリはこのように、かなり標高の高い場所に棲息しているようである。姿が見られないので種は分からないが、ウサギコウモリと思われるものが剣山の頂上(1,955m)でも、1986年8月8日, 8月30日, 1987年9月14日, 1988年9月18日にかんりの個体が鳴きながら採食しているのが観察された。

今回のコロニーは19頭からなっていたが、今までの最大のものは、約30頭の繁殖集団である(横山, 1985)。日本での採集記録を見ると、九州を除く各地で、1~3頭が洞窟や隧道で確認されている(前田, 1984)。今泉(1970)は、ウサギコウモリは大群をなすことはまれで、1頭ないし数頭の小さなコロニーですむようであるとしている。この点から見ると、今回の19頭からなるコロニーは珍しいものといえる。1986年8月8日にもこの洞窟で調査を試みたが、その時にはウサギコウモリは観察されなかった。

ウサギコウモリの外部形態の計測値を表1に示しておく。

一方、トウヨウヒナコウモリは、1988年7月

26日に香川県漆芸研究所の青木健一氏が比叡山で拾った。拾得したのは、滋賀県比叡山の延暦寺(標高約848m, 大津市坂本町)の根本中堂の近くの階段に落ちていたものである、周囲は杉の巨木(直径約1m)の林で、杉の木の高さ12~3mのところには、直径5~6cmの穴が5~6個あったという。拾得したのは、その杉の木の真下で、5~6個体のトウヨウヒナコウモリが落ちていた。朝の7時30分ころ見付けたが、アリがたかっており、そのうちの比較的完全な個体2個体(雄1頭, 雌1頭)が拾われた。前田(1984)によると、現在までにトウヨウヒナコウモリが滋賀県比叡山で採集された記録はない。

トウヨウヒナコウモリの外部形態の計測値を表1に示しておく。

### 謝 辞

この調査をするにあたって、終始ご指導いただき、さらに原稿の検閲をいただいた香川大学教育学部生物学教室の金子之史教授、および資料を提供いただいた青木健一氏、捕獲に協力いただいた佐古一博氏、渡辺忠俊氏に感謝いたします。

表1 剣山(徳島県)のウサギコウモリ*Plecotus auritus*(P. a)および比叡山(滋賀県)のトウヨウヒナコウモリ*Vesprtilio orientalis*(V. o)の体重(g), 外部形態の計測値(mm).

種名	標本番号	性	体重	頭胴長	前腕長	尾長	耳介長	耳珠長	後足長	脛骨長
P. a	M3227	♂	6.4	46.7	41.1	49.6	37.0	18.8	10.8	20.8
P. a	M3230	♂	7.4	49.0	42.0	52.1	31.6	17.1	11.0	20.7
P. a	M3228	♀	6.9	47.5	41.8	55.8	36.0	19.1	10.1	20.8
P. a	M3229	♀	7.8	50.5	41.0	50.0	35.0	18.9	11.1	20.8
P. a	M3231	♀	7.1	52.5	42.1	54.9	33.2	18.0	10.8	21.8
P. a	M3232	♀	7.2	49.9	40.3	49.0	35.4	18.1	10.4	21.0
P. a	M3233	♀	7.3	52.8	41.6	53.0	37.3	17.0	11.0	21.1
P. a	M3234	♀	7.2	48.1	42.8	52.9	37.1	19.1	10.0	21.1
P. a	M3235	♀	6.9	53.0	41.8	49.1	34.9	18.0	10.6	20.5
P. a	M3236	♀	7.4	53.0	40.8	50.8	38.0	17.8	10.0	20.2
P. a	M3237	♀	6.7	49.0	40.0	51.5	39.2	20.0	10.0	20.8
P. a	M3238	♀	8.4	50.1	41.9	53.1	39.5	20.0	11.0	21.2
P. a	M3239	♀	7.4	52.1	42.1	48.1	35.5	18.9	10.2	20.2
P. a	M3240	♀	7.1	48.0	41.2	52.2	38.2	19.9	10.6	20.6
P. a	M3241	♀	6.8	44.5	41.0	51.9	38.1	19.1	9.9	20.2
P. o	M3215	♂	12.5	57.1	46.0	40.2	14.9	7.0	10.0	16.5
P. o	M3216	♀	12.8	56.1	43.8	35.0	—	—	11.5	18.0

文 献

- Abe H., T. Kobayashi, K. Maeda, and T. Miyao. 1970. Result of small mammal survey on the Mt. Ishizuchi area. Faunal survey of the Mt. Ishizuchi area, JIBP Main Area- II : 7-14
- 阿部近一・武内恵行・山崎孝信. 1971. 剣山とその周辺の哺乳類その他. 剣山県民の森 : 129-133.
- 赤羽純信. 1958. 御嶽の哺乳類. 御嶽研究 自然編 : 361-382.
- 今泉吉典. 1970. 日本哺乳動物図説 上巻. 新思潮社.
- . 1978. 原色日本哺乳類図鑑. 保育社.
- 前田喜四雄. 1984. 日本産翼手目の採集記録 (1). 哺乳類科学 (49) : 55-78.
- 前田喜四雄・有本智・若林良. 1985. 和歌山県におけるウサギコウモリの記録. 動物と自然 15 (5) : 26-28.
- 佐野明・上馬康生. 1981. 白山地域に生息する翼手類について. 石川県白山自然保護センター研究報告 (7) : 23-29.
- 鈴木欣司・斎藤貴・町田和彦・大沢賢治. 1975. 秩父地方の洞穴調査—神庭・若御子・槻川・野上一. 秩父哺乳動物研究会会報 (2) : 1 (とうしゃ印刷).
- 横山恵一. 1985. ニホンウサギコウモリ・繁殖集団発見の記. いわて文化財 (86) : 2-3.